

# 政治を変える。

# 女性議員を増やす。

憲法  
カフェ3

【日時】 2018年11月9日(金) 18:30-20:30 (受付 18:00-)

【会場】 **かでの2・7** 610/620会議室  
(札幌市中央区北2条西7丁目1番地)

参加  
無料

「女性活躍」が推進される中、昨年、世界経済フォーラムが公表した「ジェンダーギャップ指数」の日本の順位は、144か国中114位で過去最低を記録しました。中でも政治分野は123位と低く、先進国とは思えない男女格差が存在しています。

わたしたちの生活に関わる重要な意思決定の場に女性を増やし、政治を変え、社会を変え、未来を変えていくために、今何をすべきか。

北海道地域で政治に関わる識者の方にお話いただき、参加者の皆さまと考え議論します。

## ◆ PART 1 テーマトーク ◆

「女性と議会 — 女性の参加で政治は変わる —」

**相内 眞子 氏** (北翔大学元学長、同大学名誉教授)

東京都出身。国際基督教大学卒業。北海道大学大学院法学研究科博士課程単位取得。

北翔大学教授、副学長を経て学長(2010~14年)。

日本政治学会理事、日本選挙学会理事、政治社会学会顧問を歴任。専門はジェンダー政治学。

「暮らしと議会 — そこに代弁者はいるか? —」

**宮下 裕美子 氏** (元 北海道月形町議会議員)

栃木県鹿沼市出身。1994年 新規就農のため月形町に家族で移住、切り花の生産で生計を立てる。

2007~16年 月形町議会議員。町内初で唯一の女性議員として孤軍奮闘するも議会に限界を感じ、行政側のトップとしてまちづくりを展開したいと 2016年に月形町長選挙に立候補し落選。

現在、北海道自治体学会・代表運営委員、北海道農業公社・就農アドバイザー。

## ◆ PART 2 グループトーク ◆

主催：北海道ジェンダー研究会

共催：北海道立女性プラザ

お問い合わせ先 北海道ジェンダー研究会 E-mail: h.genken@gmail.com